

# こころ

## 社会参加に必要なコミュニケーション力～日々の学びで鍛えています！

### 10月30日(月)校内研修

1年・数学「データの分析」(垣内亮人先生)

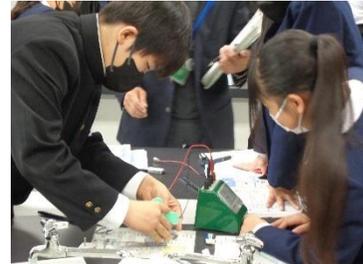
◇一見同じように見える平均点でもその意味が異なる場合がある。そのような数字の不思議を解明する授業でした。数学なのに国語辞典がある。統計用語が並んでいる。それらを使って数字に隠されている本質を説明しなければならぬ生徒たちは、脳をフル稼働してもなお仲間の助けを必要とする課題にどっぷりと浸っていました。完璧な解答まで到達しない生徒でも、結果として統計の基礎基本は概ね理解して



いました。授業者が説明するのは簡単ですが、それでは何も身に付かないことが先行研究でわかっています。

### 11月27日(月)校内研修

2年・理科「電流と回路」(亀山大典先生)



◇この授業でも電流という目に見えないものの原理を科学的な用語を使って自分で説明しなければならぬというミッションでした。生徒たちはいろいろな回路を組んで電流を流し、豆電球やモーターを観察したり、電流計目盛を読んだりして探究していました。ここでもまた、科学の用語を使って原理を説明する必要に迫られました。グループ生徒たちも実験者と同じことを考えながら学んでいました。これはミラーニューロンといって、見ている人の脳を観察すると実際に行っている人の脳と同じ部分が活性化している。見ていると学んでいる根拠はここにあるのです。

## 合唱コンクールを通して学んだこと ～ 3年生

- ◆今年度は全員で成し遂げようと練習の時から意識してできました。だからこそ、今年の合唱は歌っていてとても楽しかったです。結果は銀賞でしたが、自分の中で思い出として心に強く刻めたので金賞以上の価値だと思います。
- ◆仲間がいる心強さも今回この合唱コンクールを通して学んだことのひとつです。
- ◆クラスのみならず最高の演奏をして先生を泣かせようとしたり、先生の私たちへの信頼があったり、本当に最高の団結があったと思います。
- ◆今回の合唱コンクールで学んだことは、大事な場面まで努力し続けることです。

- ◆何事も協力しつつあきらめないことです。1人で頑張ろうとする人を見捨てずに全員で協力しようと動けるようにしたい。
- ◆人の気持ちを分かろうとすることの大切さです。どんな時も相手の気持ちを理解し、それに合った表現をするのが大事だと思えることができました。
- ◆私には表現することが大切で、そのためには殻を破ることが大切だと気付きました。
- ◆一日一日を大切に過ごすこと。限られた人生では一日一日がとても大切です。
- ◆学校生活の中で先生や学級委員が話し始めたら何かしているのをやめてよく話を聴くことができるようにしていきたいです。

- ◆私は今まで全く歌詞を気にせずに歌ってました。小関先生に「歌詞に注目して歌ってみて」と言われ、私はそこに注目して歌いました。するとすごく上手に歌うことができました。(少し注目するだけでこんなに違うんだ)ということが分かりました。
- ◆クラスのひとりひとりが分からないところなどを補い合うことができたからこそ一体感のある力強い演奏ができたのだと思いました。
- ◆パートリーダーが「1人だけ声を出さないで皆で声を出さないと声量が足りないよ！皆を信じて！」と言ってくれました。その日から私は皆を信じて歌うことができました。
- ◆卒業式も合唱コンクール同様歌うことになるので、最後のクラスでの団結力を見せ、3学年全員で最高の歌声を在校生と先生に届けたいと思いました。
- ◆みんな自信なさげに歌っていたので声がとても小さく(このままではダメだ)と思いその場の空気を明るくして合唱を少しでも楽しいものにしたと前向きな声かけをしました。
- ◆リハーサルでは上手いかず本番は上手いくのか不安だったけれど試行錯誤しながら作り上げた合唱は今まで一番気持ちが入っていて最高にいい合唱ができたと思いました。
- ◆クラスの中心的存在の仲間がいるとの大切さです。自分の役割に一生懸命取り組みつつも、少しでも最高の合唱にしようという気持ちをリードしてくれる人がいて、その声に全員で寄り添って気持ちをひとつにする。これは中心となってクラスをまとめてくれる仲間がいたから成り立ったこと。感謝の気持ちをもちたい。
- ◆指揮の練習を毎日1回は必ず寝る前にすることで体が覚え、とても緊張した本番で堂々と3組の世界に入って振ることができました。
- ◆同じパートの人たちと「ここはどれくらいの高さなの？」といった話し合いを重ねることで完成度を高めるだけでなくクラスの団結力が深まり、深い演奏ができました。
- ◆練習では周りをリードしてくれる人や歌が得意ではないけれど一生懸命取り組む人、積極的に練習しようとして声をかけてくれた人、アドバイスをしてくれる人などが多くいました。
- ◆Soon-ah will be doneとは私はもうすぐ死んでしまうという意味。タイトルに合うように静かに、けれど、つんざくように歌いました。

- ◆練習の量と質です。私たちには時間が限られていました。STORYにもあるように、限られた時の中でどれだけのことができるかが大切だと思いました。これからの受験勉強をどう進めていこうか考えさせられました。
- ◆緊張していても本番は意外と何とかなると思いました。練習で学んだことを忘れず、注意されたことも大事にしていくと本番は絶対に成功する！っていう気持ちをもっていくと、金賞ではなかったけれど銀賞をとれたので、この気持ちを忘れないことです。
- ◆結果発表の時、賞を取った学級に拍手をおくり、その学級は全力で喜ぶ。改めてリスペクトの大切さに気付かされそれを身をもって感じることができた貴重な時間となりました。
- ◆1年生、2年生の歌声がすごかったことです。1年生は人数が少なくても声が出ていて、2年生は人数が多くても一体感がすごかったなと思いました。
- ◆本番前、まわりの人と互いに「頑張ろうね」と言い合ったことが、最高の合唱ができたことにつながったと思います。
- ◆唯一無二の個性やそれぞれの得意なこと等を大切にしていくというのがこのクラスの考え方。得意なことがあるように当然苦手なこともある。避けたい苦手なことに頑張って向き合おうと思えるようになるのは大変なこと。
- ◆互いを尊重し合うこと。舞台の上で演奏を終えた後、多少のミスはありましたがそれを責めることはせずに「頑張ったね」と認め合っていました。とてもよい雰囲気の中で合唱コンクールを終えることができて良かった。
- ◆結果は銀賞でした。それでも自分達の演奏は今までで1番だったし、全て出し切ることができたと思います。やりきった分、悔しさは大きいけれど、何よりも「これは金だ！」という自信のある演奏ができて良かったです。
- ◆他のクラスとの戦いでもあるけれど、他のクラスからも学ぶことです。自分のクラスに良いところがあっても、他のクラスにはまた違った良いところがありました。
- ◆目標には届かなかったけれど、クラスの皆と良い合唱ができて本当によかったです。
- ◆目に見えない努力です。他の学級も私達が知らない所でたくさんの努力をしてコンクールに臨んでいる。そういった結果として出なかった努力も尊重していきたいと思いました。